



山本知克
Tomokatsu Yamamoto

前期限定展示作品 | 山本知克「静かな町」(部分) 1991年 作家蔵



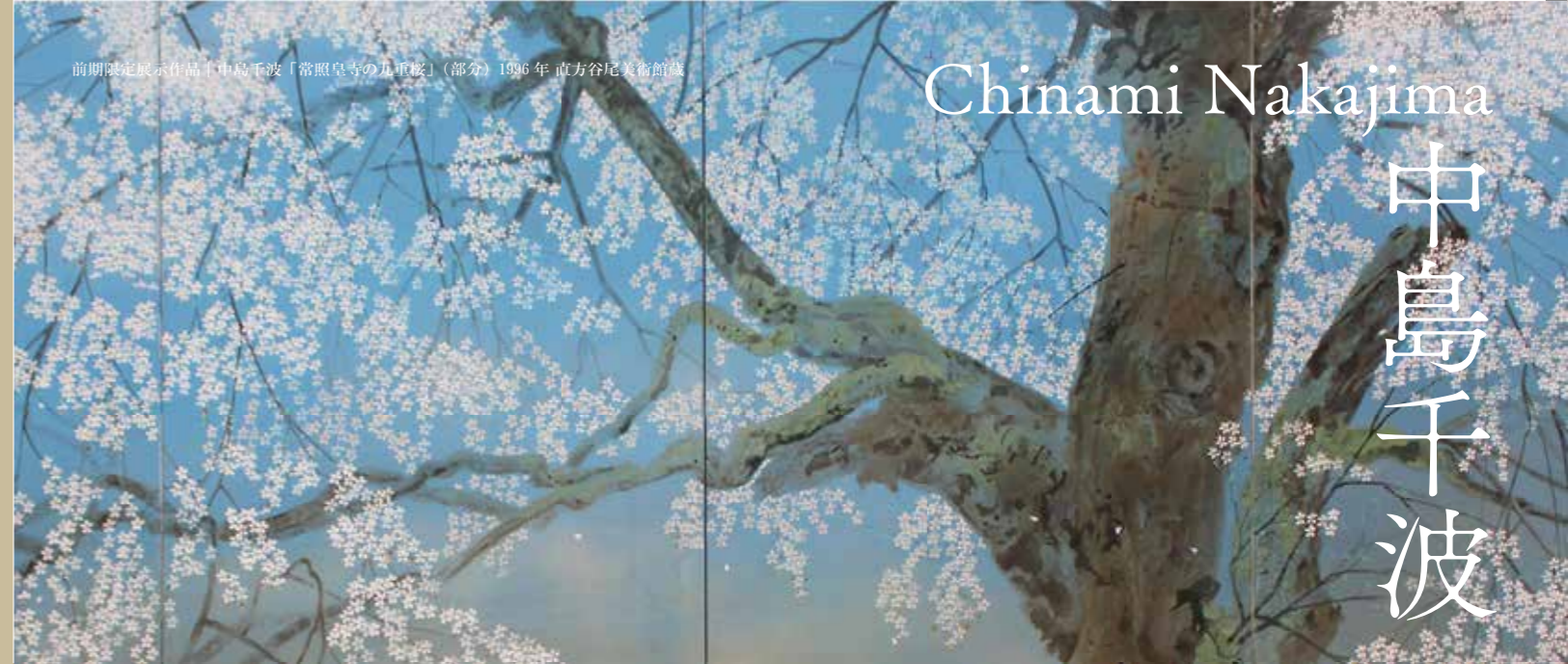
森田秀樹「平和ニ捧ぐ」(部分) 2016年 作家蔵

森田秀樹
Hideki Morita



Masao Nagamine
長嶺雅男

後期限定展示作品 | 長嶺雅男「雨後」(部分) 1953年 直方谷尾美術館蔵



Chinami Nakajima
中島千波

前期限定展示作品 | 中島千波「常照皇寺の九重桜」(部分) 1996年 直方谷尾美術館蔵

日本画の春編 2022 04.09 SAT → 05.29 SUN

春と夏の

美術館へ、季節を探しに。

日本画展

日本画の夏編 2022 06.02 FRI → 07.10 SUN

開館時間
9時30分～17時30分(入館は17時まで)

休館日
月曜日(祝日の場合は開館)
5月30日(月)～6月1日(水)(展示替えのため)

入館料
一般 400円(240円)、高大生 200円(120円)
中学生以下無料
※()は20名以上の団体料金。障がい者手帳をお持ちの方は無料。毎週土曜日は高校生無料。

主催 | 公益財団法人 直方文化青少年協会
後援 | 直方市、直方市教育委員会
取材協力 | 尾道市立大学日本画研究室

直方谷尾美術館
〒822-0017 福岡県直方市殿町 10-35
TEL 0949-22-0038 美術館 HP <http://yumenity.jp/tanio/>

かんまーむじーく主催定期演奏会について

5月8日(日)、6月11日(土)は定期演奏会開催のため、美術館の展示が通常通り鑑賞できない可能性があります。あらかじめご了承ください。

その最新の
展覧会情報は
こちらから!



コロナウイルス感染症対策について

今後の状況によっては予定が延期・中止となる可能性があります。最新の情報はHPもしくはお電話にてご確認ください。また、ご来館の際には、マスク着用・検温(任意)・手指の消毒・入館の記録にご協力ください。

直方谷尾美術館

〒822-0017 福岡県直方市殿町 10-35
TEL: 0949-22-0038 美術館 HP: <http://yumenity.jp/tanio/>

交通アクセス

公共交通機関: JR 直方駅、平成筑豊鉄道直方駅、西鉄バス直方バスセンターより徒歩10分

自家用車: 九州自動車道鞍手ICより20分、北九州都市高快速道路金剛出口より17分(駐車場7台有)



青山巨幹

Nobuyoshi Aoyama



後期限定展示作品 | 青山巨幹「草花 六曲一奴・石」(部分) 1989年 直方谷尾美術館蔵

美術館へ、季節を探しに来てみませんか？

春には穏やかな日差しの下、草花があふれ、夏には青々とした葉が風に揺れる。はっきりとした美しい四季のある日本では、季節の変化を様々な場所で感じることができます。

本展では展覧会開催時期に合わせ、春と夏、2つの季節をテーマとした作品を中心にご紹介いたします。季節を感じられる新たな楽しみの一つとして、現代日本画画壇を代表する中島千波、青山亘幹らをはじめとした、総勢5名の日本画家による作品をお楽しみください。

日本画の春編 2022 04.09 sat → 05.29 sun

展覧会関連企画 「鳥獣戯画で遊ぼう！」

本展の出品作家、森田秀樹先生を講師に迎え、F6号(409×318mm)の日本画を描く特別講座。「鳥獣戯画」の好きな場面を選び、組み合わせて作品を完成させます。着彩には水干(すいひ)という日本画独自の画材を使い、絵具の溶き方から学ぶ日本画入門講座です。

1日目「転写と線画」 2022年4月23日(土) 13:30～15:30

2日目「着彩」 2022年5月28日(土) 13:30～15:30

3日目「着彩と仕上げ」 2022年6月25日(土) 13:30～15:30



参考作品

参加費 3000円
全3日分の参加費(入館料込) ※お支払いは4月23日(土)のみとなります。欠席による払い戻しなどはございません。

参加条件 15歳以上で、上記の日程全てに参加できる方
応募方法 美術館(0949-22-0038)にお電話ください
先着10名

展覧会関連企画 「遊んでみよう！日本画の絵具体験！」

昔から使われてきた日本画の絵具に、胡粉(ごふん)というものがあります。胡粉は貝の殻で作られた白色の絵具です。今回は胡粉が粉末から液状の絵具になるまでを体験し、作った絵具を使って木の板に絵を描きます。

日時 2022年5月5日(木)・(祝) 13:30～15:00

※作品乾燥のため、作品の受け取りは後日郵送(着払い)、もしくは美術館で直接受け渡しとなる可能性があります。



参考作品

参加費 1000円
別途入館料が必要
参加条件 就学前のお子様に参加される場合は保護者同伴

応募方法 美術館(0949-22-0038)にお電話ください
先着10名

ワークショップに関するご注意

汚れても良い服装、もしくはエプロンなどを持参の上、ご参加ください。
日本画の絵具は指を使って作ります。爪などが汚れる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

日本画の夏編 2022 06.02 fri → 07.10 sun

出品作家紹介

春と夏の日本画展



前期限定
展示作品

青山亘幹 Nobuyoshi Aoyama

1945年神奈川県生まれ。1971年東京藝術大学大学院修了と同時にシエル美術賞で一等受賞。これを皮切りに、受賞を重ねる。“舞妓”や“花”をモチーフとした美しくしなやかな画風が人気を博し、現在は百貨店での個展などを中心に活躍。精力的に作品を発表し続けている。

青山亘幹「舞鶴椿 二曲一双・左」1988年 直方谷尾美術館蔵

中島千波 Chinami Nakajima

1945年長野県小布施町生まれ。1971年東京藝術大学大学院修了。「衆生」、「形態」、「眠」、「空」などのシリーズで、院展奨励賞や山種美術館展優秀賞など多くの賞を受賞する。また、桜をはじめとした花を描く日本画家としても知られており、多彩な画題に取り組んでいる。

後期限定
展示作品



中島千波「朝顔」1996年 直方谷尾美術館蔵

前期限定
展示作品



長嶺雅男「晩春」1983年 直方谷尾美術館蔵

長嶺雅男 Masao Nagamine

1907年福岡県北九州市門司区生まれ。1932年東京美術学校日本画科を卒業。同年、帝展初入選。以降日本画院に属し新文展、日展にたびたび出品。1988年死去。没後10年を経て、当館により発掘された日本画家。

森田秀樹 Hideki Morita

1959年福岡県鞍手郡若宮町(現在の宮若市)生まれ。1984年金沢美術工芸大学大学院修了。山本知克に師事。在学中から日展、県展、京展などに出品し、数多くの賞を受賞。故郷筑豊の炭鉱や廃船をモチーフとした作品やユニークな人物画で注目されている。



森田秀樹「金色の実(不帰)」2014年 個人蔵

前期限定
展示作品



山本知克「長い日」1990年 作家蔵

山本知克 Tomokatsu Yamamoto

1927年京都府京都市生まれ。1948年京都市立美術専門学校を卒業。堂本印象に師事。1992年には京都府文化賞功労賞を受賞。同年、金沢美術工芸大学名誉教授となる。ヨーロッパの風景を独自の目線で描いた作品を中心に発表を続け、日展や京都画壇で活躍した。2003年死去。